

第2期推進会議から提言のあった「いろいろな団体がネットワークを深めて活動していける仕組みの構築」について、平成24年度第1回まちづくり推進会議における意見の抜粋

○提言書で言っている仕組みのイメージだが、協働が町と町民が対等に協力して地域の公共的課題に取り組むことだとすると、諸団体というのは重要なパートナーで諸団体が活動しやすい環境づくりはまさに町の仕事なので、この組みというのは、協働のまちづくりを推進するための環境づくりだと思う。

○前期の会議では、協働のまちづくりを行っていく際に、横のつながりがなく、まだ縦しか動いていないので、横のネットワークを広げていって、団体や組織と効果的にやっていく方法を取り入れないとなかなか協働のまちづくりは広がっていかないのではないかとということでした。

○仕組みづくりには公共的な課題情報を持っているのは町で、情報を提供する町なしに仕組みは構築できないと思う  
単にネットワークを広げていくような仕組みだと果たして町の仕事かなと思ってしまう。

○いろいろな団体が活動していける仕組みの構築を図るという言葉が漠然としている。ネットワークづくりをしてそれをどういう風に活かすか、何のためにそのネットワークづくりをするのか、そういうことをはっきりする必要がある。